

KEIAI UNIVERSITY

春の OPEN CAMPUS

学生チューターが皆さんをご案内！



開催日程

プログラム

3/25 SAT 10:00 - 14:00

- 学部・学科紹介
- 学生企画
- キャンパスツアー
- 教員との学び相談

※日程および内容については変更になる場合があります。詳細は必ず本学ホームページでご確認ください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Webオープンキャンパスに変更する場合があります。

オープンキャンパス情報は
こちらから

敬愛大学 検索

<https://www.u-keiai.ac.jp/juken/event/open-campus/>



参加予約は
こちらから

2023 OPEN CAMPUS

10:00 - 14:00

5/28 SUN 6/18 SUN 7/16 SUN
7/30 SUN 8/6 SUN 8/23 WED
8/30 WED 9/9 SAT 2024 3/20 WED

- 学部・学科紹介
- キャンパスツアー
- 教員との学び相談
- 入試相談
- 学生企画 など



入試イベント情報は
こちらから

<https://www.u-keiai.ac.jp/juken/>



平日入試相談・キャンパス見学

月曜日～金曜日（土日・祝日除く）

10:00 - 11:30, 13:00 - 16:30
ご都合のよい日程でお申込ください。

- 入試相談[来場型][オンライン型]
- キャンパス見学[来場型]

平日開催の入試相談！

Check! 平日の希望の日時で入試相談・見学ができます。

遠方の方など、希望者はオンライン型の入試相談もお選びいただけます。

平日入試相談・キャンパス見学
はこちらから

<https://www.u-keiai.ac.jp/juken/event/weekday/>



参加予約は
こちらから



<https://www.u-keiai.ac.jp/>

〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21
代 表：TEL.043-251-6363 FAX.043-251-6407
アドミッションセンター：TEL.043-284-2486 FAX.043-284-2558
(入試・オープンキャンパス問い合わせ) ☎ 0120-878-070 [フリーダイヤル]

Twitter ID
@u_keiai



Instagram ID
@keiai_university



LINE ID
@keiai



YouTube



敬愛大学の「現在進行形」を届ける広報誌『イング』

Vol. 12

SPRING 2023

ING



[特集1]

「敬愛大学とSDGsの学び」

「なぜ?」「どうして?」を追究し、課題解決力を高める

[特集2]

希望の進路を実現した4年生が語る

「就職内定者インタビュー」

様々な課題に直面している現代社会

私たちが生きる現代の社会は、貧困と格差や気候変動、少子高齢化などの様々な課題に直面しています。大きな変化(Volatility)、将来の予測が困難(Uncertainty)、様々な事柄が複雑に絡み合う(Complexity)、正解が1つに定まっていない(Ambiguity)という特徴があり、英語の頭文字を取って「VUCA(ブーカ)時代」*¹と呼ばれています。授業で教えてもらった方法を真似るだけ、教科書に載っている正解を憶えるだけで、課題の解決はできるでしょうか。様々な課題を自分事としてとらえ、状況に応じた解決策を提案できる「課題解決力」が必要と、敬愛大学は考えています。



課題解決力を身につけるには？

「課題解決力」と聞くと、大変なことに思えますが、皆さんにできることはたくさんあります。まずは、身のまわりのことに興味関心を持ち、疑問に思うことや知りたいと思うことを探してみてください。「なぜ?」「どうして?」から始めて、それが自分や周りの人にとって、本当に重要な疑問なのかを考え抜く必要があります。課題解決力を身につける出発点は、「よい問い」を立てることなのです。そのきっかけが、大学の学びの中にあります。

建学の精神「敬天愛人」とSDGs

敬愛大学は2026年に開学60周年となり、母体である千葉敬愛学園は創立100周年を迎えます。本学の建学の精神「敬天愛人」(天を敬し、人を愛す)は、時代を経ても変わらない私たちの理念です。「敬天愛人」とSDGsは、同じ未来を目指しており、自然に調和します。2つの理念が、どのように繋がっているか考えてみましょう。

敬天愛人

(天を敬し) (人を愛す)

「敬天愛人」をより身近に捉えようと、以下のように考えることができます。

「敬天」(天を敬す) 先人から受け継がれた知識や技術を謙虚に学び、とうとうとする姿勢。より良い社会を築くために創意工夫し、学んだことを実践しようとする心。

「愛人」(人を愛す) 平和を希求し、地域、家族、友人などのつながりをより良いものにしていこうとする姿勢。自らの果たす役割を理解し、能力を磨き、地域に貢献していこうとする心。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsは、多くの人が共通の理解を持ち、協力するためのコミュニケーション・ツール*²です。これに取り組む時、以下の3つを大切にする必要があります。

「当事者意識を持つ」社会の様々な課題を他人事としてではなく、自分事として考える。

「実際の行動に移す」社会をより良くしていこうとする意欲を持ち、勇気を持って一歩を踏み出す。

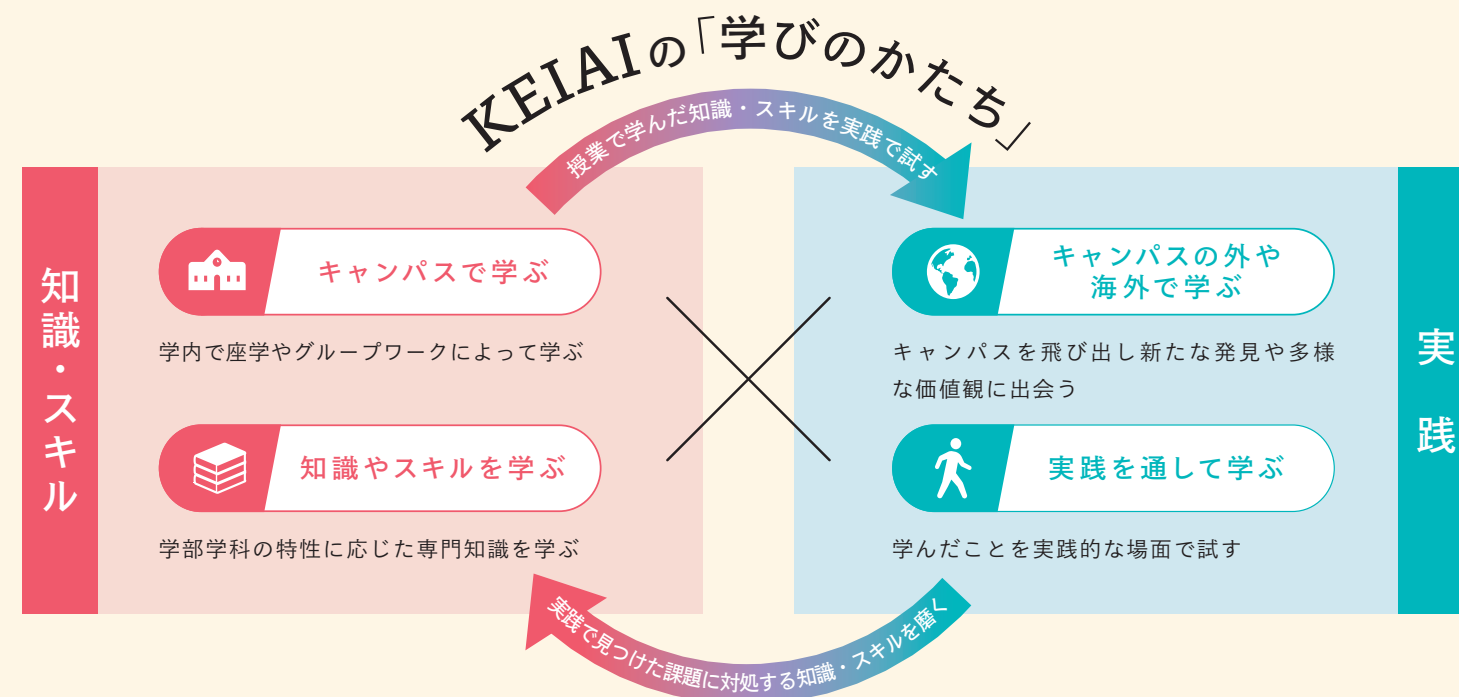
「他者と協力して取り組む」困難な課題には、皆の知識や知恵を集めて粘り強く取り組む。

「敬天愛人」は、社会や地域、人との関係をより良くしていこうと志し、人間としての生き方をともに探求する実践の教えそのものです。何を実践するかは人により様々ですが、SDGsは、未来に向けて私たちが取り組むべき重要な課題を示しています。新しい「問い」を見つけたら、それが自分や社会にとって重要なものであるか、SDGsの目標やターゲットを参考に考えてみてください。

※SDGsとは:「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、「2030年までに持続可能でより良い世界を目指す」という国際目標のことです。17の目標に169のターゲットが設定され、我が国でも様々な取り組みが行われています。

敬愛大学の「学びのかたち」

自分で課題を発見し、柔軟に解決策を導き出す力を高めるために、座学だけでなくアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れています。また、キャンパスの外や海外にもフィールドを拡げ、新たな発見や視点を拓く方法を身につけます。学部学科では、それぞれの専門性に応じた知識・スキルを学び、実践の中で試します。ここで生まれた新たな課題を解決するために、さらに知識・スキルを磨きます。こうした試行錯誤を繰り返すことで、課題解決力を高めることができます。



『学科×SDGs』の例

経済学部 経済学科

貧困や経済格差、高齢者や障がい者、児童への福祉政策など、私たちの生活と関わりのあるテーマへの理解を深めます。様々なデータを用いた調査・分析の方法を学び、社会の抱える課題の解決方法を考えます。

経済学部 経営学科

企業と連携したプロジェクトなどへの参加を通して、地域産業の現状と可能性を学びます。地域で活躍する中小企業の事例を知り、その課題をテーマに、地域活性化につながる事業の創造に取り組みます。

国際学部 国際学科

世界の国々の社会や文化、歴史などの多様性を知り、現状や課題を学びます。また、地域の持つ魅力や観光振興などへの理解を深め、グローバルとローカルの視点から、より良い社会のあり方を考えます。

教育学部 こども教育学科

教育の歴史や思想、各教科の指導法などを学び、これからの教育のあり方や可能性を考えます。合同ゼミにおけるポスターセッションでは、身近なSDGs課題をグループで調査・発表し、探究授業への理解を深めます。

千葉県を課題発見のフィールドに

敬愛大学のある千葉県は、商工業の発達や空・海・陸の交通・物流の巨大ネットワーク、豊かな自然といった特長を持ちます。課題発見のフィールドとして最適な地理的特徴を活かして、各学部学科で様々な探究を行い、卒業後の社会で活躍できる力を身につけましょう。



千葉県 PR マスコットキャラクター
チーぱくん

敬愛大学は「ちば SDGs パートナー」として千葉県より認証されています。(ちば SDGs パートナー 650 号)

【参考文献】*1 北村友人・佐藤真久・佐藤学(編著)『SDGs時代の教育 すべての人に質の高い学びの機会を』学分社(2019)
*2 川廷昌弘『未来をつくる道具 わたしたちのSDGs』ナツメ社(2020)

学生が取り組んでいる課題と将来の目標

学生は、どのような問題意識を持ち、課題に取り組んでいるのでしょうか。

学部学科の特徴が現れた個性的な課題を紹介します。

SDGsのゴールとどのように関係するのか、皆さんも考えてみてください。



経済学部経済学科

3 年 T. H さん

千葉県立市川高等学校 出身

3 持続可能な開発目標 (SDGs) 8 質の高い雇用と経済成長 15 陸域生態系の保護

3 年 T. H さん

千葉県立市川高等学校 出身

新しい旅の「形」の可能性

私たちの生活や仕事に深い関わりのある経済学を学べば、社会に出るために必要な知識が身につくと考えて経済学部を選びました。大学では興味関心のある分野を調べ、課題を見つけて研究することが必要です。経済学が扱う課題には唯一の正解はないため、確かな根拠をもとに考えを深め、自分はどのように考えるのかを示すことが大切だと学びました。関心があるのは、自治体で行われているウェルネスツーリズムの取り組みです。旅先でサイクリングや自然観察をしたり、温泉や食を楽しむことで、心身をリフレッシュさせる新しい「旅」の形です。過疎化に悩む自治体は、ウェルネスツーリズムを導入して、豊かな観光資源や地元に残る歴史、文化を活かした地域活性化の試みを始めています。この活動が地域経済に与える効果を調査して、課題解決の可能性を卒業論文にまとめたいです。将来の進路はまだはっきりと決めていませんが、自動車や福祉関係の仕事に就きたいと考えています。実行力や継続力、問題解決力が私の強みなので、これらを活かせる営業職を検討中です。

関連する科目

政府や地方自治体の役割や政策を学ぶ「公共経済学」「公共選択論」「地方自治論」「経済政策」などがあります。「入門経済学」「マクロ経済学」「ミクロ経済学」「経済理論」などで、経済学の基礎、および発展的な内容が学べます。



経済学部経営学科

3 年 M. I さん

昭和学院高等学校 出身

8 質の高い雇用と経済成長 9 産業・イノベーション 11 持続可能な都市とコミュニティ

3 年 M. I さん

昭和学院高等学校 出身

キャラクターを使った地域活性化

経営学科の遠藤准教授のもとで、観光振興による地域活性化を研究しています。コロナ禍により観光業や旅行業、宿泊業などは、大きな打撃を受けました。日本を見回してみると、東京への一極集中、地域の過疎化、少子高齢化などの問題も見えてきます。両親に連れられて国内外の各地を旅行した経験から、このような状況に強い問題意識を持ちました。そこで、アニメや漫画のキャラクターを使った地域活性化の研究を始めました。具体的には、那須塩原市の人口や在留外国人数の推移、発行された広報物の内容などを調べています。また、現地を複数回訪れ、オフシーズンの旅行客の状況や記念ノートの書き込み数をホテルや旅館、喫茶店などで実地調査しました。関心のあるテーマを深めていく過程が何よりも楽しく、この成果を4年次の卒業論文にまとめたいと考えています。このようなテーマを受け入れてくださった遠藤先生と観光業界に興味を持つきっかけを与えてくれた両親に大変感謝しています。卒業後は、大好きな那須塩原市や観光業界に貢献できる仕事に就きたいです。

関連する科目

地域活性化や観光地経営を学ぶ「地域観光論」「観光事業論」「地域事業創造論」「経営立地論」などがあります。「入門経営学」「経営戦略論」「経営組織論」「会計学」などで、経営学の基礎、および発展的な内容が学べます。

SDGs への様々な取り組み

敬愛大学は、教育を通じてSDGsを学園全体(大学・短期大学・系列高校)に普及させる目標を掲げています。この一環として、各学部の学生が教員とともに推進する「敬愛SDGs未来プロジェクト」が開始されました。「敬愛SDGs集会」では、学外の有識者による講演会を開催したほか、学生や生徒の有志が勉強の成果を発表するポスターセッションを行いました。アイコンやグッズの制作などの取り組みも進められています。



データを分析して結果を発表する学生
(「敬愛SDGs集会」ポスターセッション)



国際学部国際学科

3 年 K. O さん

千葉県立流山おおたかの森高等学校 出身

4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等 10 人や国や文化を超えた仲よくなる

3 年 K. O さん

千葉県立流山おおたかの森高等学校 出身

女性にやさしい社会と自分にできること

高校では演劇部に所属していました。色々な役を演じる時に、自分の性格とのギャップを感じて、幅広く演じるにはもっと柔軟な考え方が必要ではないかと思いました。国際学部に入學したのは、世界や日本の社会、文化、歴史を学び、色々な意見や価値観に触れて、広い視野で物事を考えられるようになりたいと思ったからです。高校では受け身でいることが多かったですが、大学では自分の意見を言うようになりました。外国人の英語の先生から「あなたは、自分の意見をしっかりと持っている」と言っていたことがきっかけです。現在の日本の子育てや女性の働き方を見ると、もう少し女性にやさしい社会であつたらいいなと感じます。子育て世代への支援や一人親の子供たちの居場所を作ることなど、できることがたくさんあると思います。出産や育児で仕事を辞めてしまった女性が、もう一度、社会で活躍できる環境も必要だと思います。私にもできることがあると思い、保育の勉強をしています。卒業後は、幼いころからの夢だった子供と関わる仕事に就きたいと考えています。

関連する科目

世界の中の日本や多文化共生、異文化理解を学ぶ「国際関係入門」「多文化共生」「異文化理解」「国際社会とSDGs」などがあります。各国の社会や歴史、環境問題などを学べる科目、実用的な英語運用力を高める科目も多数開講しています。



教育学部こども教育学科

2 年 H. F さん

千葉県立佐倉南高等学校 出身

4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等 10 人や国や文化を超えた仲よくなる

2 年 H. F さん

千葉県立佐倉南高等学校 出身

一つひとつの課題を丁寧に理解する

高校生の時に小学生の勉強をサポートするボランティアに参加したことがきっかけで、小学校の教員になりたいという目標を持ちました。感謝の気持ちが書かれた手紙を送られ、やりがいのある仕事だと感じたからです。ゼミでは、ジェンダーに関する課題を調べました。性の多様性への理解を理想化するのではなく、個性を大切にするという考え方が必要だと思いました。「教育社会学」の授業では、学校を客観的に見て、そこにどのような課題があるのかを考える視点を学びました。例えば、不登校の児童には、登校するように指導するのか、自宅で学習ができるように支援するのか、唯一の正解はないように思います。SNSで話題となる校則の厳しさに関しては、先生と生徒との間にすれ違いがあると感じます。お互いの考えには理由があることを理解しながら、意見を交わすことが大切ではないでしょうか。様々な課題への理解を深め、子供たちに背景や意味を伝えられるようになりたいです。一人ひとりと向き合い、子供たちに寄り添いながら一緒に成長する、魅力にあふれた教員を目指しています。

関連する科目

教育に関わる歴史や思想、教員の役割や責務を学ぶ「教育原論」や「教職概論」、授業づくりの基礎を学ぶ「教育方法・技術論」、教科の指導法を学ぶ科目などで教員になるために必要な力を身につけます。ゼミでは、関心のあるテーマをより深く学びます。

特集2

STUDENT'S
INTERVIEW

就職内定者インタビュー

敬愛大学で学び、目標をかなえた4年生たちは、どのような経験をしたのででしょうか。4年間を振り返りながら、社会人生活に向けた抱負や高校生・受験生の皆さんへのメッセージを語ってもらいました。

地方銀行の業務を通して、 千葉県の地域創生に携わりたい

生まれ育った千葉県に恩返しをしたいという気持ちが強かったので、地域に貢献できる企業を志望し、千葉市に本社を置く銀行に内定をいただきました。就職活動では、エントリーシート作成のために文章力を磨き、面接での反省点や気づいたことをノートにまとめて次の選考に活かしました。野球部に所属していたので、リーグ戦と選考の日程が重なった時期は大変でしたが、やり遂げることができました。

所属している根本ゼミでは、グループワークの機会が豊富でした。ここで鍛えたコミュニケーション能力やディスカッションをする力が、面接で活かされたと思います。キャリアセンターにも、インターンシップの紹介や個別指導などの多方面でサポートをしていただき、大変感謝しています。

銀行は、私たちの生活に欠かせない存在です。人生の重要な選択で銀行を利用される方に信頼され、役に立てる仕事がしたいです。将来は地方創生に携わりたいと考えているので、卒業論文では「地方創生問題と地域金融機関の政策」をテーマに研究をしました。経済学部は2年次に学科・コースを選択するので、入学時に将来の進路を決めていなくても大丈夫です。今の自分に焦ることなく、大学での学びをきっかけに夢や可能性を見つけてください。

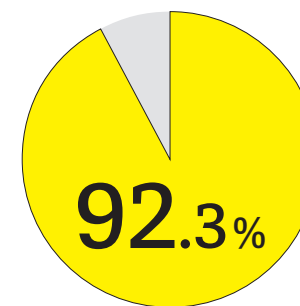


千葉市に本社を置く金融機関に内定

K. T さん 経済学部経済学科 4年
(銚子市立銚子高等学校 出身)

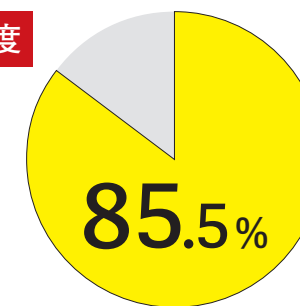
就職満足度

卒業生の就職満足度は、92.3%と高い値となりました。多くの学生が自分の力を出しきり、納得のできる就職活動を行った結果と考えられます。



目標進路達成度

就職先の志望度は、第一志望と第二志望を合わせて85.5%となりました。十分な就職対策を行って、目標進路の実現ができた結果と考えられます。



2022年3月卒業生への調査(N=196)。満足度は、5段階のうち「満足」「ある程度満足」の割合の合計、志望度は、4段階のうち「第一志望」と「第二志望」の割合の合計。

リゾート施設で、 お客様の思い出作りのお手伝いがしたい

日本有数の総合リゾート運営企業に内定をいただきました。全国各地にあるリゾート施設を利用するお客様に、思い出に残る体験をしていただくための接客業務に携わる予定です。幼い頃から人の役に立つことにやりがいを感じており、人に喜んでもらえる仕事がしたいと思っていました。採用面接で、そうした思いを入社後のビジョンとして明確に伝えたことが、評価されたのだと思います。

国際学部では、AI・データサイエンスについての専門知識を深める高橋ゼミに所属しています。AIによる自動翻訳に興味を持ち、どのような仕組みが使われているのかを調べ、卒業論文としてまとめるつもりです。AIに関することであれば自由に研究に没頭することができ、分からないことを丁寧に教えていただきました。これからの社会で必要なAIの基礎知識が、しっかり身についたと思います。

国際学部の先生方は、学生一人ひとりの個性を尊重してくれます。大学を卒業した後の進路がはっきりと決まっていなくても、授業や先生のアドバイスから興味のあることを見つけやすい環境だと思います。全ての学びが卒業後の社会で活躍するためのヒントになっているので、大学生活で様々な知識や経験を積み、希望の進路を見つけてください。



国内有数の大手リゾート施設運営企業に内定

M. O さん 国際学部国際学科 4年
(福岡県立小倉高等学校 出身)

「駅」を通して地域を支え、 まちづくりに貢献したい

駅の改札や発券、構内誘導などの業務を行う会社に内定をいただきました。入社後は駅員として配属される予定です。3年生の夏から業界研究を始め、金融や商社、鉄道業界に興味を持ち、OB訪問を積極的に行いました。コミュニケーション能力を活かせる企業を中心にエントリーし、先輩や友人と1日5時間以上の面接の練習をしました。私の長所である素直さや前向きさが伝わるように意識し、結論を簡潔に分かりやすく話しました。学業と部活動、夜間のアルバイトをしながら、就職活動をするのは大変でしたが、時間を有効活用することが得意になりました。

中国経済や医療経済学が専門の藪内先生のゼミでは、新型コロナウイルスによって日本や世界の経済が受けた影響や、その課題に関する理解が深まりました。コロナ禍で業績が悪化したり、倒産となった企業の問題点や改善点について、グループディスカッションをしたことが印象に残っています。様々な角度から意見交換をした経験は、社会でも活きると思います。

鉄道は地域の人々が利用する公共交通機関であり、駅は地域活性化やまちづくりと密接に関係しています。大学生活を通じて、地域の方々の温かさに触れることができたので、社会人になっても千葉県に貢献したいです。



千葉県・千葉市の小学校教員に内定

K. A さん 国際学部こども教育学科 4年 (現教育学部こども教育学科)
(船橋市立船橋高等学校 出身)

児童と共に学び、 チャレンジし続ける小学校教員でありたい

4月から小学校教員として勤務する予定です。こども教育学科を選んだのは、英語教育に力を入れていることに魅力を感じたからです。1・2年次はボランティア活動で様々な人と関わる経験をしました。2020パラリンピックでは、英語でサポートをしたハンガリー代表選手から、車椅子フェンシングの銀メダルをかけてもらったことが、特に印象に残る思い出です。東日本大震災の被災地を訪ねる震災学習スタディツアーにも2年連続で参加しました。教員を志す私には、津波で多くの児童が亡くなった大川小学校で聴いたお話が心に刻まれました。

教育実習では1年生を担当し、経験豊かな先生方から多くの気づきを得ることができました。ここで、児童にとっての学校は、授業以外でも「学ぶ場所」であるという実感を深めました。教員採用試験に向けた勉強が本格化してくると、先生や先輩方から様々なサポートをしていただきました。仲間と切磋琢磨して合格することができ、ほっとしています。合格後はオーストラリアへ6週間の語学留学をしました。思い切った挑戦でしたが、この経験から「チャレンジし続ける教員になる」という目標が定まりました。挑戦する姿を児童に見せることで、成長のきっかけを与えることができたらと思います。